



## 第1地域 行動計画推進リーダー 菅原 裕典（仙台泉 RC）

「行動計画推進リーダー」この役割を初めて耳にする方もいるかもしれません。ステファニー・アーチック会長は「クラブにおけるアクションプランの推進」を会長イニシアティブのひとつに掲げており、私は文字通りこれらを牽引するための効果的な役割であると心得た次第です。

ご承知のように 2019 年から5か年の期間(2024 年)で「ビジョン声明」と「4つの戦略的優先事項」からなる行動計画が始まりました。しかし計画の大きな目標である会員増強についてはコロナ禍もあり一部の地域を除き会員数は減少しています。

そうしたなか、RIでは昨年 10 月の理事会において 2024 年 7 月 1 日から始まるゾーン・地区・およびクラブに対する 3 年間の目標と 3 年間の rolling regional plan を実施するためのグローバルパイロットプログラムを承認しました。これは 2019 年から始まった行動計画の大きな目標の会員増強を着実に推進していくためのものです。

承認を受け、ガバナーエレクト各位に 2024 年 5 月に地区行動計画推進リーダー指名のご依頼をさせて頂いたところ、すべての地区から行動計画推進リーダーを選出いただき、6 月には「第 1 回地区行動計画推進リーダー ZOOM 会議」を開催いたしました。そこでお伝えした行動計画推進リーダーの役割と今後の具体的な流れとしましては、地区内のクラブにおいてはまずジャパンポータルサイトより「3 年間の目標」をクリック、「My ROTARY ロータリークラブセントラル」へアクセスし、クラブの目標を入力していただきます。また、3 年間の目標に関する Excel 形式のフォーマットがダウンロード可能になっておりますので、各クラブの目標についてクラブ会長を中心に皆様で話し合い、設定していくことを奨励いたしました。もちろん地区の考え、そしてクラブの考えもあることも理解はしますが、ビジョン声明に「私たちは世界で、地域社会でそして自分自身の中で、持続可能な良い変化を生むために、人々が手を取り合って行動する世界を目指しています」とありますことから、私たち行動計画推進リーダーは、RC(ロータリーコーディネーター)の方々と協力して、現在ロータリー会員ではない方をお誘いし、現会員と一緒に持続可能な良い変化を生むための世界を目指していくことが肝要と考えております。例えば自クラブが現会員数から〇〇人増えることを想像してみてください。今以上にクラブが活性化していく姿を想像してみてください。ワクワクしませんか？勿論、私たち行動計画推進リーダーは地区、クラブの行動計画推進リーダーの皆さんと行動を共にしていきます。



詳細は桑澤一郎行動計画推進リーダーに作成いただいたアクションプランや「3-year rolling goals」などがジャパンポータルサイトでわかりやすく掲載されております。これらをご参照のうえ、クラブでご活用いただけましたら幸いです。





『ロータリーのマジックを見つけにカルガリーに行きましょう！』

カルガリー国際大会推進チームメンバー 兼推進コーディネーター 服部 陽子（東京広尾 RC）

皆様はロータリーの国際大会に参加なさったことがあるでしょうか？参加した方のリピート率は高いのですが、参加の経験のないロータリアンもたくさんいらっしゃいます。国際大会は友情と学びが融合し、インスピレーションが生まれる舞台と言われています。ぜひ今年度はこの特別な機会を逃がさず、世界のロータリアンと共に国際大会ならではの醍醐味を味わいましょう！

今年度の国際大会は、2025年6月21日より25日までカナダのカルガリーで開催されます。22日の開会式の朝には日本人親善朝食会も予定されています。カルガリーはバンクーバーから飛行時間1時間20分、カナダの西部アルバータ州、カナディアンロッキーの麓にある高原都市です。周辺には、美しい湖レイクルイーズのあるバンフ国立公園や野生動物に出会えるジャスパー国立公園など、自然に恵まれた魅力的な観光地がたくさんあります。カルガリーは遠い、と感じる方もあるかもしれませんが、なかなか行くチャンスが少ないところこそ、国際大会という機会にぜひ訪れていただきたいと思います。

私は5月のシンガポール国際大会に、所属クラブのメンバー10名と参加いたしました。半分は初めての国際大会への参加でしたが、今迄は想像もできなかったロータリーの世界が見えてきたと感想を述べていました。その中の一人は会長ノミネーでしたが、帰国後にはクラブのリーダーシップを執る準備を進める上での取り組みも変わってきました。ロータリーの広がりや繋がりを肌で感じることでできる国際大会をたくさんの皆様に体験していただけたらと願っております。

恒例の国旗入場に始まる開会セッションでは、RI 会長始めたくさんの魅力的なスピーチやエンターテインメントが繰り広げられます。翌日からの本会議や分科会では、DEI や行動計画など今知りたいテーマが扱われ、世界の会員の声を聞くことができます。RI 会長、RI 会長エレクト主催のランチセッションや地元のロータリアンが工夫を凝らして用意するホスピタリティーイベントなど、人気の高いイベントへの参加も楽しみです。分科会やイベントに積極的に参加して、ロータリー最大のイベント、国際大会を満喫しましょう！

日本推進チームのメンバーが皆様のお手伝いをいたします。ご質問やご相談があればいつでもご連絡ください。

第一地域 伊藤三之(山形北 RC)

[lawyer-i@js7.so-net.ne.jp](mailto:lawyer-i@js7.so-net.ne.jp)

第二地域 樋口明(神奈川 RC)

[higutikk@violin.ocn.ne.jp](mailto:higutikk@violin.ocn.ne.jp)

第三地域 安行英文(三田 RC)

[mayfairchelsea@icloud.com](mailto:mayfairchelsea@icloud.com)



←カルガリー国際大会ちらし





### 第3地域 ポリオ根絶コーディネーター 藤井 秀香（岸和田東 RC）

2020-21 年度ガバナーを務めさせて頂きました。国際協議会から帰るとコロナ感染拡大により不完全燃焼に終わったミッションの中にパキスタンへのポリオワクチン投与活動参加でした。コロナも落ち着き、今年1月松本(2690 地区益田西 RC) 団長のもと、チーム・ポリオ・ジャパンに参加させて頂き、現状を勉強させて頂きました。

偶然ですが第3地域ポリオ根絶コーディネーター(2024-27 年度)を拝命いたしました。

皆様にご支援をお願いするのに、現場の現状とポリオの発症を防ぐには、ワクチン投与だけではなく七つの重点分野が大きく関わっている事と不衛生な水と社会生活の現状を伝えることができました。パキスタン、さらに世界でポリオが根絶されたら、それは彼女達ヘルスワーカーの働きあってこそ、成し得たのだと言えるでしょう。

根絶活動へのご寄付は、ワクチンを準備し、輸送し、人材を確保するロータリーと、パートナーによる活動を支える力となります。

7月に入りますと、ガバナー訪問が始まります。ガバナーは是非訪問先のクラブで、40年近く取り組んできた、ロータリー最優先課題『ポリオ根絶』に向け、ポリオプラス基金へ毎年年間100ドル以上の寄付お願いし、PPS(ポリオプラス・ソサエティ)への入会を促進していただけたらと思います。入会者には、地区から感謝状とバッジの贈呈をお願いします。ポリオプラス基金へ1,500ドル以上のご寄付をくださったクラブ、DDFの20%以上をポリオプラス基金へ寄贈してくださった地区は、次年度に感謝状が贈られます。

10月24日の世界ポリオデーに、ロータリー会員には、予防接種の重要性を地域社会に伝えることが奨励されています。世界ポリオデーフォトコンテストにも応募いたしましょう。

昨年末、変異ポリオウイルスによるポリオ発生を食い止めるために欠かせない新しい手段として、画期的なポリオワクチン(nOPV2)をWHOが承認されました。

これからも、GPEI (Global Polio Eradication Initiative) パートナーと共に活動を続けていきます。

持続的な政治的・資金的コミットメントがあればこそ、世界は今後も、ポリオのない世界の実現に向けて前進していくことができるでしょう。

世界のどこかにポリオが存在する限り、世界中の子供達が感染する危険に晒されています。

この疾病を根絶するためにどうか皆様のお力をお貸しください。

一緒に行動を起こすことで、ポリオのない世界を実現できます。

ロータリーと共にポリオ根絶を実現しましょう。



ポリオのない世界まであと少し